

OYABE VOICE

2024年
冬
号

おやべ市議会だより | No.212 2024.2

議員は市民の代表、あなたの声を聴き市政に届けています。そんな議会の活動をお伝えします。



特集
「空き家について考えるよ」

「空き家について考えよう」

11月22日に津沢コミュニティプラザで「議会報告会2023 議員と語ろうみらいトーク」を開催しました。67人の皆様にご参加いただきました。議会報告では、空き家についての現状と議会における取組状況について報告をしました。また、意見交換では、14グループに分かれて「空き家の現状についてどう思う」「空き家を増やさないため



には、どうする」「小矢部市の画期的な空き家対策とはどんな事業」の3つの問いかけに対してワールドカフェ方式によるワークショップを実施し、多くの意見をお聞きしました。主な意見は次のとおりです。

移住者を増やす意見

- ・移住者を増やすため子供たちに小矢部市でしか受けられない教育環境をつくる。
- ・10年住んだら固定資産税、市民税を10年間割り引く。
- ・小矢部の魅力を活かし空き家の移住者には固定資産税を無税にする。

若い人を増やす、呼び戻す意見

- ・空き家でリフォーム体験、シェアハウス体験をする。
- ・有名大学のキャンパスや大学の誘致をする。
- ・小矢部で働ける職場を確保する。
- ・若い人や若い女性が生活できるまちにする。
- ・若い人を呼び戻す事業に沢山補助金を出す。
(3世代住宅、新築リフォーム等)
- ・小矢部の3大祭り等を子供たちに伝承させ、市外への転出を予防する。

空き家を増やさないための意見

- ・空き家を解体する費用に助成する。
- ・空き家を解体しても固定資産税が上がらないようにする。
- ・空き家に増税して予防する。
- ・空き家をホテルや助産院にして活用する。
- ・空き家を必要としている人を増やす。新婚カップルなどを増やす。
- ・空き家をゼロ円住宅、ゼロ円貸家にして空き家の流通をよくする。
- ・空き家を地域コミュニティの場として子供やお年寄りの集まる場所にする。
- ・空き家を増やさないための条例をつくる。



模造紙に意見をメモしながら意見交換しました。

みらいトークに参加された方にインタビューをさせていただきました！



若林地区 早田さん

空き家は増える一方でほとんどが解体するしかありません。再利用にもお金がかかるので、二世帯、三世帯住宅の利用を推進し、市で再利用か解体か判断してもらおう仕組みが必要だと思います。今回参加して様々な意見が聞け、年齢による意見の違いがよくわかりました。



津沢地区 小松さん

空き家は近所にもありますが、我が家も空き家予備軍で非常に切実に感じています。空き家に若い人を呼び戻すため、ソフト面の事業、例えばUターンや移住、新築などに助成をする。小矢部がもつと魅力的で、小児科や産婦人科等がある子育てしやすいまちになることを望みます。



石動地区 森さん

私の思う空き家対策は、活用できる空き家は0円で貸し出し、税金も無税化して活用促進を図ること、管理不全の空き家や老朽危険空き家は第三者が管理するシステム作りが必要だと思います。今回参加して、様々な意見が聞けてよかったです。このような取り組みを増やしてほしいです。



石動地区 能村さん

空き家は利用できるもので問題ではなく、人口減少が問題です。移住・定住対策の充実や、解体後の税の優遇措置が必要ですが、また、今回の参加者は年齢層が高く感じましたが、若い人は発想が豊かなので、どんな町に住みたいか中高校生の意見も聞かれると思います。



石動地区 舟本さん

空き家は増えています。活用対策として、民泊施設や移住希望者のためのお試し住居（自分たちでDIYできる助成）や、小矢部には産科がないので、助産院にする活用もあると考えます。それから、人口流出を防ぎ、Uターンを増やすため幼少期からの地元愛を育む教育が大切だと思います。



松沢地区 大沼さん

自治体では負担しきれない災害時の対応や周辺整備等が問題に感じます。核家族化や町の変化を考える必要があり、家の流動性を高める工夫、現状の税制の工夫が必要で、魅力ある中古物件とする施策があればよいと思います。様々な参加者から多様な意見が聞けて気づきの機会となり感謝します。

議会報告会を通して：

議会報告会では、様々な意見をいただき活発な意見交換ができました。参加者アンケートからは、ぜひ参加したい、なるべく参加したいという意見が90%を超えた回答がありました。議会や議員を身近に感じていただけたのではと思っております。いただいた画期的な意見が、少しでも実現できるよう議会としても努めていきたいと考えております。

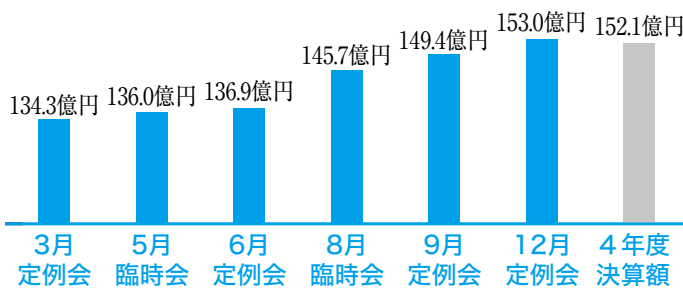
参加者アンケートはこちら



5 市民は知っておきたい 今定例会の注目の議案 つのポイント



令和5年度の予算（一般会計）推移



今定例会では、一般会計で3億5,864万2千円の補正予算案が上程され、原案のとおり可決されました。

Point 1

住民税非課税世帯等に対する 給付金の支給

事業費 **1億3,016.8万円**

電力・ガス・食料品等の価格が高騰する中、生活困窮者等の生活・暮らしを支援するため、住民税非課税世帯等に対して給付金が支給されます。

- 対象世帯：①令和5年度住民税非課税世帯
②令和5年1月以降の家計急変世帯
- 給付金：1世帯当たり7万円
- 支給開始日：令和6年2月（予定）



令和5年度の補正予算などを審査する

12月定例会 December

3・6・9・12月に開催される定例会の内容をお届けします。12月定例会では、上程議案「補正予算3件、条例改正9件、決算認定7件、その他議案14件、人事案件1件、請願1件」を審査しました。

12月定例会の流れ



▲動画配信中

- | | | | |
|-------|---|--------------------------------------|----------------------------|
| 本会議 | 1 | 12/8(金) 10:00 - | 市長による議案の提案理由説明 |
| 全員協議会 | 2 | 12/8(金) 10:55 - | 担当部長等による提出された議案の説明 |
| 本会議 | 3 | 12/14(木) 10:00 -
12/15(金) 10:00 - | 上程議案への質疑並びに市政に対する代表質問・一般質問 |
| 委員会 | 4 | 12/18(月) 10:00 - | 総合計画特別委員会 |
| | | 12/18(月) 14:00 - | 民生文教常任委員会 |
| | | 12/19(火) 10:00 - | 交通観光特別委員会 |
| | | 12/19(火) 14:00 - | 総務産業建設常任委員会 |
| 本会議 | 5 | 12/21(木) 10:00 - | 市長による追加議案の提案理由説明 |
| 全員協議会 | 6 | 12/21(木) 10:25 - | 担当部長等による追加議案の説明 |
| 委員会 | 7 | 12/21(木) 13:00 - | 民生文教常任委員会 |
| | | 12/21(木) 14:00 - | 総務産業建設常任委員会 |
| 本会議 | 8 | 12/21(木) 16:00 - | 議案の討論・採決など |

議員別賛否状況は、11ページをご覧ください。

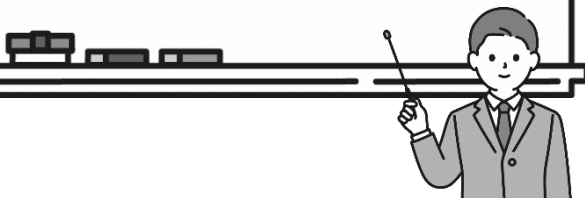
Point 5

公の施設の指定管理者の指定

令和6年3月末に指定期間満了を迎える施設の指定管理者が下記のとおり指定されました。

- ・小矢部市サイクリングターミナル
▶ 株式会社共立ソリューションズ
- ・倶利伽羅源平の郷埴生口
▶ 倶利伽羅源平の郷埴生口運営協議会
- ・小矢部市老人生きがいセンター
▶ 公益社団法人小矢部市シルバー人材センター
- ・小矢部市高齢者健康交流センター（つざわランド）
▶ 社会福祉法人小矢部市社会福祉協議会
- ・クロスランドおやべ
▶ 公益財団法人クロスランドおやべ
- ・アートハウスおやべ
▶ 公益財団法人クロスランドおやべ
- ・小矢部市民プール
▶ 株式会社フージャースウェルネス&スポーツ
- ・小矢部ホッケー場・小矢部市野外運動広場
▶ 特定非営利活動法人おやべスポーツクラブ
- ・小矢部市立屋内スポーツセンター・小矢部市武道館
▶ 公益財団法人小矢部市体育協会
- ・小矢部運動公園体育施設
▶ 公益財団法人小矢部市体育協会
- ・小矢部市立藪波スポーツセンター
▶ 藪波地区振興会
- ・小矢部市立水島スポーツセンター（多目的交流施設ふれあいドーム）
▶ 水島地区振興会
- ・小矢部市立北蟹谷スポーツセンター
▶ 北蟹谷地区自治振興会

指定管理者制度は、公の施設の管理運営に対して民間事業者やNPO法人等の参入を可能にした制度です。公の施設の管理に民間事業者等のノウハウ等を活用しつつ、住民サービスの向上や経費の節減等を図ることを目的としています。



Point 2

市内農業者に対する支援金の支給

意欲的な営農活動の継続を支援するため、農業用資材等の価格高騰の影響を受けている市内農業者に対し支援金が支給されます。

事業費

652.4万円



- 対象者：農作物を生産する市内農業者
- 支援金：200円/10a（農作物の作付面積）※二毛作含む

Point 3

まちなか等振興事業補助金の補正

まちなか等振興事業補助金において、計画認定件数の増加に伴い増額補正されました。

補正前 今回補正 補正後
400万円 + 372.1万円 = 772.1万円



まちなか等振興事業

まちなかでの空き店舗出店、空き店舗・空き地の賃借、既存店舗のリニューアル等にかかる経費の一部を助成する事業

Point 4

道の駅の大規模改造に係る基本設計

開業15年目を迎える道の駅メルヘンおやべのより効果的な施設運用に向けて大規模改造に係る基本設計業務の委託料が計上されました。



事業費

264万円



定例会中の 質問や意見をご紹介します

今定例会中に上程議案や市政全般に対して、議員からあった質問・意見の一部をご紹介します。
なお、全ては掲載できないため、興味のある方はYouTubeの動画や議事録をご参照ください。

総務産業建設常任委員会



プレミアム付商品券発行
事業への助成について

物価高騰等の影響を受けている市民生活を支援するとともに、消費喚起により市域経済の下支えを行うことを目的として、小矢部市商工会が実施するプレミアム付商品券発行事業に対して助成が行われます。

- 事業主体：小矢部市商工会
- 販売単価：5,000円/冊（1人10セットまで）
- プレミアム率：30%（金額：1,500円）
- 購入できる人：市民及び市内事業所に勤務する人
- 対象事業者：市内に店舗を有する事業者
- 商品券の有効期間：発行から6か月間

問 プレミアム付商品券の件について、前回発行した際から変更した点はあるか。また、発行はいつ頃を予定しているか。

答 プレミアム付商品券の販売価格及びプレミアム率については、変更ないが、発行部数を前回から1万3千セット増やし、3万5千セットとする予定である。

また、一人あたりの購入上限も、前回の5セットから10セットとする予定である。前回発行の際は多数の応募があり、必要としている方が非常に多いと感じている。

発行時期については小矢部市商工会と調整中であるが、なるべくスピーディーに対応していきたい。

民生文教常任委員会



小矢部市営バスの設置及び管理に関する条例の一部改正について

令和5年4月から実証運行をしていたAIオンデマンド交通「チョイソコおやべ」が令和6年4月から本格運行されます。「チョイソコおやべ」は市内330か所（R5.12月現在）の停留所に加え、満75歳以上の高齢者や障害者等は自宅前を停留所に設定できる特徴があります。

- 運行時間：午前8時～午後5時
（時間外の平日朝夕は定時定路線型バスが運行）
- 利用対象者：原則、市内在住者 ※事前登録が必要
- 予約方法：電話、インターネット
- 利用料金：1人1乗車400円

※ただし未就学児は無料、満75歳以上の高齢者や小中高生、免許返納者、障害者及びその介助者等は200円



問 運転免許証を返納していれば半額で乗れるが、最初から免許を保持していない方は該当と思うが、仕方がないのか。

答 65歳以上の免許返納者の方については、従前から自主返納の推進事業という形でメル

バスの定期券を無料で交付するといったようなことを行っていた。もともと免許証を持っていない方については、そういった事業を踏襲している関係上、対応はしていないというところをご理解いただきたい。

代表質問



会派「新政」
藤本 雅明 議員

質問項目

- ・アフターコロナ対策について
- ・令和5年度7月豪雨の復旧について等

問 アフターコロナ対策の充実について問う。

答 エネルギー価格等の影響を受けている商業者や農業者、公共交通事業者などの事業者支援のほか、物価高騰対策として市民を対象としたプレミアム付商品券発行事業による生活者支援やお米引換券配布事業による子育て世帯への支援を考えている。

問 令和5年度7月豪雨の復旧について問う。

答 国の公共土木施設災害復旧事業の対象となる箇所数が河川で2か所、市道で19か所あり、現在までに工事発注を終え、本年度内での完成を目指している。特定財源の活用が見込めない単独修繕は18か所で約4千58万5千円

を見込み、復旧費の総額は公共土木施設全体として約2億6千65万8千円になる見込みである。こうした復旧費用に対し、国の負担金が1億1千107万6千円見込まれる予定で、本市の負担額は約1億4千98万2千円になる予定である。農地・農業用施設に関しては全ての災害査定を完了しており、17か所で査定額は4億7千682万7千円である。

問 官民挙げた元気な小矢部市づくりについて問う。

答 ラジオ体操について、個人や任意の団体で継続的になされていることから市民の生活に十分に浸透しているものと考えている。また、市内の半数以上の

企業でラジオ体操に毎日取り組んでおられる。老若男女を問わず元気に暮らしていただくために、健康なまちづくり宣言については、前向きに検討したい。

問 市の魅力の再発見について問う。

答 郷土愛の醸成には、自分たちが住んでいる地域を知り、その地域が有する歴史的・観光的資源を生かすことが重要であると考えている。再発見ツアーのさらなる拡充を通して郷土愛の醸成を図るとともに、他市へ自慢できるような観光の魅力をも引き上げ、情報発信などを通じて関係人口の増に努めていく。

議員のひとこと

市民の皆さんが自主的に健康づくりに取り組むことは、元気な小矢部市づくりには不可欠です。



会派「未来共創」
白井 中 議員

質問項目

- ・令和6年度の本市の予算編成について
- ・小矢部市総合計画後期実施計画について

問 令和6年度の予算編成はどこに主眼を置いて編成しているのか。

答 コロナ禍における生活様式の変化や物価高騰対策等、社会経済状況の変化に対応しつつ、地域社会や市民生活の活力を底上げし、社会経済活動を活性化させることに重点を置き、予算編成に取り組みることとしている。

問 市債残高の返済計画を明確に示して、金利負担を減少すべきと考えるが、当局の見解を問う。

答 公共施設の整備において耐用年数を超過し、公共施設再編計画で方向性が明確になっているものを優先して位置付けることで、市債借入額を抑制し、公債費の後年度負担の縮

減を図る。また、最近の経済動向を踏まえ、借入金利の上昇が見込まれることから、庁舎整備基金や小中学校基金への計画的な積立てを行うことにより、新たな借入額の抑制を図り、金利負担の抑制に努める。

問 若い女性の首都圏流出に向けた対策について問う。

答 若者が地方都市で定住するには、地域に就業機会があることが極めて重要な条件であり、本市では新たな就業機会を確保するため、企業誘致に力を入れるとともに、市内の多様な業種の企業周知にも取り組んでいる。また、若者を採用するには、視覚や聴覚に訴えた動画の活用が効果的であ

ると言われていることから、今年度から新たにPR動画を活用して採用活動に取り組む企業を支援している。

問 おやべ1%まじづくりの事業は近年、新規の応募がなく継続者の応募ばかりが目立つ。新規の若い世代から問い合わせがないのであれば見直しを図るべきだ。

答 おやべ型協働のまちづくり会議において、市が課題として取り組んでいる事柄をテーマとして掲げることで、市の総合戦略に沿った事業が生まれることは良いことだと意見をいただいたので、令和6年度の事業募集要項で「定住促進」「観光」「子育て」をテーマとして定め、これらに対する応募は優先採択事業として募集を行うことにした。特に「子育て」について、若い世代・子育て世代からの応募を期待している。

YouTubeで代表質問の動画を配信中!! ▶
スマホで右記のQRコードをお読み取りください。



白井 議員



藤本 議員

一般質問



やまだ よしはる
山田 吉晴 議員

質問項目

- ・UJターンの促進
- ・大学生と地域課題解決
- ・クラウドファンディングの活用について等

問 UJターンになげるため、IT事業を起業する若者を市内に集めてはどうか。

答 本市に集まっていたく、あるいは本市が選ばれるためのインセンティブにはどのようなものがあるか、また、どのような支援ができるかについては、先進事例も参考に今後、調査検討を進めたい。

問 住民が主体となり、学生と協働した地域課題解決の取組みについて問う。

答 住民と学生との協働活動は地域活性化を促進するものであると認識しており、機会を捉えて市内の学校、さらには県内の高等教育機関の意見を聴取し、地域住民とのニーズが合致する場合において

は、双方が円滑に活動できるように調整を行いたい。

問 地域課題解決等のため、ふるさと納税型クラウドファンディングを実施してはどうか。

答 公共性、公益性、事業の優先度、事業の波及効果など検討すべき課題があるので、他市の事例等を慎重に注視したいと考える。

問 金融経済教育の取組みについて問う。

答 小学校では金融機関から講師を招き、お金や物価について学んでいる。中学校では家庭科や公民の授業で消費者や金融詐欺、会社や投資等について学んでいる。引き続き、社会情勢に応じた取組みを調査研究し、授業に取り入れていきたい。



はやし のぼる
林 登 議員

質問項目

- ・あったか子育て日本一を目指す
- ・宇宙産業の振興について

問 陣痛タクシーの導入を民間事業者へ働きかけてはどうか。

答 課題をどう克服できるかを検討し、事業者にも働きかけたい。

問 保育料の格差が地域間であることを、どう受け止めているか。

答 氷見市、魚津市では、1歳児及び2歳児の保育料を無償化している。1歳児及び2歳児の保育料を無償化する場合、令和5年度保育料での試算で、本市では年間約5千700万円の財源が必要となるため、実現に当たっては国・県の支援が不可欠である。

問 あったか子育て日本一と言いながら、県内でも一番ではない。しっかりと取り組んでほしい。

答 本市の財政事情も

あるので、予算編成の中で検討したい。

問 宇宙産業の振興に取り組むべきでは。

答 本市の宇宙関連事業としては、株式会社ゴールドウインの宇宙下着や、株式会社LIXILで宇宙空間での自社素材の利活用に向けた研究が進められている。今後の成長産業である宇宙産業に熱意を持つてチャレンジする企業からの声があれば、適切に支援していく。

問 新しい産業をこちらから積極的に育てていかないと、経済発展は難しいのではないか。

答 既存産業への支援と同様に新たな分野・産業の育成、支援もまた重要であると考えているので、時代に合わせた支援等を検討したい。



なかた まさき
中田 正樹 議員

質問項目

- ・ふるさと納税制度
- ・国の税収の還元策
- ・ワクチン接種費

問 ふるさと納税制度は本来の趣旨にそぐわない利用、寄附が大半になっている。

答 カタログショッピング、ネット通販のようだとの指摘もある。

問 サイト側が自治体から受け取る手数料や付与されるポイントは、週れば全て税金である。

答 制度の見直しは継続的に行われており、問題があれば、国により是正されると考えている。

問 7万円の給付は、課税収入のある家族がいても世帯分離していれば、受けられるのか。

答 地方税法上の扶養親族である場合は、形式的に別世帯であっても給付対象とはならない。

問 給付や還元より消費税減税、期限を設けた軽減税率品目の0%

課税が有効である。

答 物価高に対応する生活者支援として、一つの手法であると認識している。

問 インフルエンザ予防接種費用の助成制度は、医療機関や市民にとって分かりやすく、安定した制度にすべき。

答 国・県の支援策を踏まえて、分かりやすい助成制度にしていきたい。

議員のひとこと
7万円の給付と4万円の税の還元に必要な予算は5兆円あまり。食料品等の軽減税率品目の消費税率を1年間0%にした場合の税収減も約5兆円。低所得者支援、物価高騰対策、公平性、即効性、景気刺激策にもなる一時的な消費税減税が、経済政策の基本中の基本！

◀ YouTubeで一般質問の動画を配信中!!
スマホで左記のQRコードをお読み取りください。



中田 議員



林 議員



山田 議員

一般質問



石田 義弘 議員

質問項目

- ・ホッケー競技の普及について
- ・令和5年産米について
- ・感染症の現状について

問 本市がホッケータウンに認定されたこの機会に、国際交流にぜひ取り組んでほしい。

答 今年度は韓国のトップレベルのチームを招聘し、小矢部REDOXとの親善試合や小学生との交流会等が開催された。ホッケーのまちおやべのPRや地域活性化の点において大変有意義であった。今後も県・市のホッケー協会等と連携し、国際交流事業を積極的に支援していきたい。

関係機関と連携して推進していく。

問 感染症の発症状況を問う。

答 砺波管内では、新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は9月から減少傾向が続いていたが、11月下旬からわずかに増加傾向にある。また、インフルエンザ及びプール熱の定点当たり報告数は11月から急増している。

問 県内の病院や薬局で薬不足が発生している状況について。本市の状況を問う。

答 本市も同様な状況であり、市内医療機関や調剤薬局では、長期処方を受け一度に渡す量を調整するなど供給不足に対する工夫をされていると伺っている。

問 地区の集合場所が指定避難所になるか。

答 本市の指定避難所は現在50か所を指定している。町内の公民館など各地区内で比較的安全な施設や民間事業者の事業所を避難所として使用させていただくこと等により、より

問 職員の普通救命講習の実施状況や応急手当普及員の資格取得割合を問う。

答 普通救命講習を受講した市職員の割合は、しっかりとした数字で把握していないが、令和5年度から講習会を再開し、市職員が3年計画で受講するよう進める。また、応急手当普及員の資格を持つ市職員はいないが、その上位資格である応急手当指導員が2人いる。

問 防災訓練に障害者が安全に参加できるようにしてほしい。

答 市総合防災訓練や地区の防災訓練に安心して参加できるように、訓練内容の見直しや環境整備に努めたい。

問 活用しやすく効果的な介護予防を問う。

答 今年度の新たな取組として、理学療法士による膝や腰などの痛みを改善する運動をケーブルテレビで紹介している。また、いきいきサロン等の身近な集まりに専門職を派遣し、介護予防に資する講義や実技の指導事業を実施している。今後も地域の健康課題を把握し、効果的な介護予防事業の推進に努めたい。



嶋田 幸恵 議員

質問項目

- ・災害に強いまちづくりについて
- ・介護予防について等

多くの避難所の確保に努めたい。

問 道の駅の大規模改造の基本設計を問う。

答 地域振興棟及び交流広場周辺施設の改造を最優先し、物販コーナーと農産物売場の一体性を持たせ、地域農産物を活用した6次産業化に向けた施設改造も考えている。

問 実施設計等のスケジュールを問う。

答 地域振興棟内の整備の前倒しも含め、速やかに実施設計し、8年度工事完了を目指す。

問 駐車場の混雑解消、トイレ増設を国交省へ要望していただきたい。

答 利用者増加が見込まれることから駐車場の確保やトイレ増設を要望していきたい。

問 文化庁が国指定の史跡に相当する価値があるとして選定された

北国街道俱利伽羅峠越について問う。

答 今後も歴史的な景観を残す大切な遺産として、その保護や活用を図っていききたい。

問 俱利伽羅県定公園文化観光推進について

答 行政、地域、団体、企業と幅広い意見交換の場を設け、協議会設置に向けて検討を進めていきたい。

問 部活動地域指導者への謝金について問う。

答 謝金額は今後検討が必要と考えている。

問 偏った加入実態も踏まえた部活動の在り方について問う。

答 令和6年度からは、クラブチームなどに加入する場合に限り、部活動の加入を必須としない方針である。



竹松 豊一 議員

質問項目

- ・道の駅活性化について
- ・俱利伽羅県定公園の文化観光推進について
- ・部活動地域移行

道は活性化について問う。

答 地域振興棟及び交流広場周辺施設の改造を最優先し、物販コーナーと農産物売場の一体性を持たせ、地域農産物を活用した6次産業化に向けた施設改造も考えている。

問 実施設計等のスケジュールを問う。

答 地域振興棟内の整備の前倒しも含め、速やかに実施設計し、8年度工事完了を目指す。

問 駐車場の混雑解消、トイレ増設を国交省へ要望していただきたい。

答 利用者増加が見込まれることから駐車場の確保やトイレ増設を要望していきたい。

問 文化庁が国指定の史跡に相当する価値があるとして選定された

北国街道俱利伽羅峠越について問う。

答 今後も歴史的な景観を残す大切な遺産として、その保護や活用を図っていききたい。

問 俱利伽羅県定公園文化観光推進について

答 行政、地域、団体、企業と幅広い意見交換の場を設け、協議会設置に向けて検討を進めていきたい。

問 部活動地域指導者への謝金について問う。

答 謝金額は今後検討が必要と考えている。

YouTubeで一般質問の動画を配信中!! >
スマホで右記のQRコードをお読み取りください。



竹松議員



嶋田議員



石田議員



よしうら ひであき 議員 義浦 英昭

質問項目

- ・ 新学校給食センター整備について
- ・ 農業の担い手育成・確保についての取組等

問 新学校給食センター整備の炊飯機能の検討について問う。

答 炊飯機能を導入した場合、炊飯設備に約1億8千万円、年間ランニングコストは約1千300万円かかる見込みであり、導入に当たっては多額の費用を要することとなる。現在の炊飯委託料は約1千700万円であり、新学校給食センターで炊飯した場合の費用と比較すると、約400万円高くなると試算される。ただし、炊飯施設の建設費用を考慮すると、炊飯を委託したほうが、財政負担の軽減が図られるものと考えている。

問 農業の担い手育成・確保にかかる市単独助成制度創設の考えを問う。

答 就農準備資金や、雇用就農資金等の制度があるが、就農時にいて50歳未満であることが必須条件となっている。これらの制度の周知を図りながら、新規就農者や研修受入先の農業法人等を対象とした市独自の助成制度も検討していきたいと考えている。

問 生産農家の収入が減少していることへの対策について問う。

答 5月に農家への燃料コストの高騰対策として、10アール当たり200円を支援した。県の支援策では、肥料・燃料コスト低減支援事業や農業用電気料金高騰緊急対策事業が実施された。11月補正で、水稲・大豆異常高温緊急対策事業が追加された。



いしまし しょうじ 議員 石間 庄二

質問項目

- ・ 国の5年度補正予算活用方針について
- ・ 安全な市街地道路整備
- ・ 持続可能な公共交通

問 市は国の補正予算の補助事業メニューを市内の企業等に対して産業建設部長以下が説明に足を運ぶとか、積極的な姿勢を見せることが必要ではないか。

答 経済産業省の補助メニューについては、商工会、企業協会とタイアップし、積極的に「国からこういう事業がありますよ」と今後も周知して行きたい。

問 狭あいな津沢こども園の周辺道路は、保護者の送迎車の安全確保のため、道路の拡張は不可避ではないか。

答 拡張整備については、沿線に建物が多く立ち並び移転が必要なことなど、多大な費用と住民のご理解・ご協力が必要ことから早期の整備は難しい。交

通の安全上の問題があるとの認識は持つており、路面標示や安全施設の設定等による注意喚起を行うなど安全性の確保について引き続き検討していく。

問 チョイソコおやべによるお出かけ促進のため、高齢者等でも外出しやすくなる仕組みづくりや、外出したくなるような仕掛けづくりの検討状況を問う。

答 市内事業者等のメラルバスポンサーのお店などへ来店の際に特典を受けられるなどの利用促進策を現在検討している。

議員のひとこと

利用者の95%が満足しているチョイソコをぜひ一度ご利用いただき、その快適性などを実感してみてください。



うえだ ゆみこ 議員 上田 由美子

質問項目

- ・ 学校給食の無償化について
- ・ 自衛隊員募集のための個人情報提供について

問 市の小中学校の給食費無償化を求める請願署名が50名分集められ市長に提出された。全国では学校給食の無償化に踏み出す自治体が43自治体に達している。本市で学校給食費を無償にする場合の費用はどれだけか。また、就学援助制度で支給される額を除き、一人に月1千円を補助する場合の費用はどれだけか。

答 本市の学校給食費は年間約1億2千600万円であり、一人に月1千円を補助する費用は年間約800万円の見込みである。学校給食費の無償化は、国の政策で進めていただくことを要望している。

問 令和5年2月に市は自衛隊の求めに応じ、本人の同意なしに18歳

と22歳の市民の氏名、住所、生年月日、性別の4情報を紙の名簿で渡した。個人情報の無断提供は問題だ。以前の閲覧に戻すべきだ。

答 令和3年度は翌年度18歳と22歳になる市民の名簿を作成し、閲覧の方法で情報提供した。閲覧に立ち会う市職員の事務負担が発生することも勘案し、紙による資料の提供方式に変更したものであり、従前の閲覧方式に戻す考えはない。

議員のひとこと

新学校給食センターに炊飯設備を設けることは、より安全な有機農産物の生産に取り組み農家を市が応援することになり、地産地消も確実に実施されることになると考える。

◀ YouTubeで一般質問の動画を配信中!!
スマホで左記のQRコードをお読み取りください。



上田 議員



石間 議員



義浦 議員



12月定例会の議決結果



審議された議案等、議員別賛否状況

▼ 全会一致で議決された議案

議案番号	議案名	議決結果
議案第 52 号	令和 4 年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分について	可決
認定第 2 号	令和 4 年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算	認定
認定第 5 号	令和 4 年度小矢部市東部産業団地事業特別会計歳入歳出決算	認定
認定第 6 号	令和 4 年度小矢部市水道事業会計決算	認定
認定第 7 号	令和 4 年度小矢部市下水道事業会計決算	認定
議案第 53 号	令和 5 年度小矢部市一般会計補正予算 (第 5 号)	可決
議案第 54 号	令和 5 年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 2 号)	可決
議案第 55 号	小矢部市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び市長等に対する給料等の支給に関する条例の一部改正について	可決
議案第 56 号	小矢部市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決
議案第 57 号	小矢部市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
議案第 58 号	小矢部市印鑑条例の一部改正について	可決
議案第 59 号	小矢部市手数料条例の一部改正について	可決
議案第 60 号	小矢部市営バスの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議案第 61 号	小矢部市附属機関条例の一部改正について	可決
議案第 62 号	小矢部市高齢者健康交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議案第 63 号	小矢部市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決

議案番号	議案名	議決結果
議案第 64 号	小矢部市サイクリングターミナルの指定管理者の指定について	可決
議案第 65 号	倶利伽羅源平の郷殖生口の指定管理者の指定について	可決
議案第 66 号	小矢部市老人生きがいセンターの指定管理者の指定について	可決
議案第 67 号	小矢部市高齢者健康交流センター (つざわランド) の指定管理者の指定について	可決
議案第 68 号	クロスランドおやべの指定管理者の指定について	可決
議案第 69 号	アートハウスおやべの指定管理者の指定について	可決
議案第 70 号	小矢部市民プールの指定管理者の指定について	可決
議案第 71 号	小矢部ホッケー場・小矢部市野外運動広場の指定管理者の指定について	可決
議案第 72 号	小矢部市立屋内スポーツセンター・小矢部市武道館の指定管理者の指定について	可決
議案第 73 号	小矢部運動公園体育施設の指定管理者の指定について	可決
議案第 74 号	小矢部市立敷波スポーツセンターの指定管理者の指定について	可決
議案第 75 号	小矢部市立水島スポーツセンター (多目的交流施設ふれあいドーム) の指定管理者の指定について	可決
議案第 76 号	小矢部市立北蟹谷スポーツセンターの指定管理者の指定について	可決
議案第 77 号	令和 5 年度小矢部市一般会計補正予算 (第 6 号)	可決
議員提出議案 第 2 号	パレスチナ自治区ガザ地区における即時停戦を求める決議	可決
同意第 28 号	小矢部市教育委員会教育長の任命について	同意

▼ 賛否が分かれた議案

○：賛成 ×：反対 —：議長は表決に加わりません

議案番号	議案名	議決結果	山田吉晴	石間庄二	上田由美子	林登	竹松豊一	谷口巧	山室秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井中	福島正力	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵
認定第 1 号	令和 4 年度小矢部市一般会計歳入歳出決算	認定	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第 3 号	令和 4 年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第 4 号	令和 4 年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第 2 号	「ガザの虐殺をただちに停止し、平和条約への話し合いを始めるよう、関係国、国際社会へ働きかけることを求める」意見書採択の請願	不採択	×	×	○	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×

総合計画特別委員会で

行政視察を実施しました

● 視察日 11月8日(水)～9日(木)

● 視察先、視察内容

- ① 愛知県大府市
 - ・第6次大府市総合計画について
 - ・公共施設の適正化に向けた取り組みについて
- ② 福井県大野市
 - ・第6次大野市総合計画策定について

● 議員の所感

大府市の計画は「健康都市」を理念とし、『いつまでも住み続けたいサステイナブル健康都市おおぶ』を実現するため、独自性、先駆性、付加価値性という新たな発想のもと、現在も人口増を継続していることに大府市の先進性や独創性を感じた。

大野市では施設の適正化に4つの視点から採点し方向性を客観的に判定していること、総合計画では「人がつながり地域がつながる住み続けたい結のまち」を将来像とし、外部コンサルなしで職員や関係者、市民を中心に手作りで創り上げていることを参考にしたいと思った。

交通観光特別委員会で

行政視察を実施しました

● 視察日 11月13日(月)～14日(火)

● 視察先、視察内容

- ① 福井県小浜市
 - ・アプリによる情報発信やデータ収集による分析など観光DX
 - ・地域DMO株式会社まちづくり小浜について
 - ・御食国若狭おばま観光戦略について
 - ・インバウンド誘客について
- ② 京都府宮津市
 - ・京都府北部地域連携都市圏公共交通計画について

● 議員の所感

株式会社まちづくり小浜は、観光まちづくり戦略における役割分担がしっかりと機能しており、特にデータに基づいた分析をし、観光コンテンツの開発・支援・人材育成をしていることが素晴らしいと思った。小矢部市においても道の駅を核としたまちづくり戦略を立てて取組をスタートすべきだと思った。

京都府北部地域連携都市圏公共交通計画については、子ども連れや免許返納前の高齢者に向けた公共交通お試し試乗会の実施や、乗り方教室等の実施など、だれもが公共交通の使い方を理解し、移動することが楽しくなる地域の実現に取組んでいることが印象に残った。



3月 定例会のお知らせ

次の定例会は3月5日から22日までの18日間の予定です。ぜひ、本会議や委員会を傍聴しにお越しください。

※青枠の文字はケーブルテレビやYouTubeにて生放送を行う予定です。

3月 5日(火) 10:00～	本会議	提案理由説明	18日(月) 10:00～	委員会	総合計画特別委員会
11日(月) 10:00～	本会議	代表・一般質問	14:00～	委員会	民生文教常任委員会
12日(火) 10:00～	本会議	一般質問	19日(火) 10:00～	委員会	交通観光特別委員会
13日(水) 10:00～	委員会	予算特別委員会	14:00～	委員会	総務産業建設常任委員会
14日(木) 10:00～	委員会	予算特別委員会	22日(金) 15:00～	本会議	質疑、討論、採決
15日(金) 10:00～	委員会	予算特別委員会			

編集後記

私たちの多くが経験したことのない震度5強の揺れが小矢部市でもありました。この地震により市内で負傷者2名の報告、各所で上下水道、道路等のインフラ被害、そして多くの住宅被害も発生しました。被災された市民の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

本号では昨年11月に市民と市議会との意見交換をワークショップ形式で行った「議会報告会」を特集しています。参加された9割以上の方が「次回も参加したい」との高評価をいただき、早速、次回開催に向けた検討を始めています。

12月定例会では、緊急経済対策や物価・燃料価格高騰対策に関連する事業の補正予算案などを審議・可決されました。さらに今回の地震災害、昨年の豪雨災害からの一日も早い復旧に努めなければなりません。

(広報広聴委員会委員 石間記)
次回の「OYABE VOICE」は、令和6年5月の予定です。